

2018年10月9日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

(10月9日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年10月9日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額 (円) (2018年10月9日)	前営業日比 (円) (2018年10月5日比)	変動率
三井住友・中国A株・香港株オープン	13,823	-754	-5.17%
三井住友・A株メインランド・チャイナ・オープン	13,927	-774	-5.26%

2. 基準価額の変動要因等について

10月8日に中国本土株式市場は下落し、その代表的指数であるCSI300指数は、9月28日との比較で4.3%の下落となりました。中国本土は10月1日から5日まで国慶節の連休でしたが、その間、米中の通商問題の長期化による中国経済の先行き不透明感が強まったほか、イタリアの財政問題などの外部環境の悪化から、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。

また、為替面では、9月の中国の外貨準備高が市場予想を下回ったことや、10月7日に発表された預金準備率の引下げなどの金融緩和措置が人民元の下落につながるとの見方から、対円で人民元安が進みました。上記ファンドの基準価額については、以上のことが主な下落要因となりました。

3. 今後の見通し

今後の中国本土株式市場は、11月の米国の中間選挙までに米中の通商問題が収束することは見込み難いことから、引き続き不安定な展開が続くとみられます。一方、中国政府は景気の下振れに配慮した政策に転換しており、財政出動など柔軟に対応する構えです。今後、インフラ投資の拡大などの政策効果が市場でより認識さ

れるにつれて、市場は落ち着きを取り戻すとみています。また、国有企業改革など構造改革の進展や、MSCIによる中国 A 株の組入比率引き上げ観測を受けた海外資金の流入なども相場の支援材料になるとみています。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。